



未来へ継承したい、
日本の社会基盤と技術

インフラメンテナンスとは

私たちの身の回りにある道路や橋、水道や文教施設などのインフラは豊かな暮らしや、経済を支えてきました。一方、高度成長期に造られたそれらインフラは、老朽化の進行が指摘されています。新しい時代に向けて、インフラをどのように守り使っていくのか、社会全体で取り組むことが求められています。

第3回

**「インフラメンテナンス大賞」
エントリー受付中!**

12月14日(金)締切

詳しくはホームページをご覧ください。 [第3回インフラメンテナンス大賞](#)

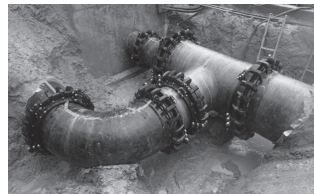
第2回「インフラメンテナンス大賞」大臣賞受賞案件



総務大臣賞
(株)NTT東日本-南関東



情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞
松江市上下水道局



厚生労働大臣賞
大成機工(株)



農林水産大臣賞
石川県農林水産部森林管理課



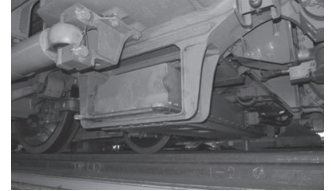
農林水産大臣賞
淡路東浦ため池♡里海交流保全協議会



国土交通大臣賞
青森県



国土交通大臣賞
日本大学大学院工学研究科



国土交通大臣賞
公益財団法人鉄道総合技術研究所

募集要項

趣旨

国民生活やあらゆる社会経済活動は、道路・鉄道・港湾・空港等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、治山治水といった国土保全のための基盤、その他の国土、都市や農山漁村を形成するインフラによって支えられています。

これらのインフラの老朽化が今後も進行していく中で、インフラによってもたらされる我が国の活力や生活、環境、景観、安全・安心の機能を維持していくためには、インフラのメンテナンスに国全体で取り組む必要があります。

この表彰は、我が国の大臣賞にインフラが直面する老朽化やその対策に必要な担い手不足の問題に対応して、インフラメンテナンスの現場における工夫やメンテナンスを支える活動、インフラメンテナンスの効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発の優れた成果を収めた取組の関係者を顕彰することで、我が国のインフラの機能の維持を目指すものです。

表彰の対象

以下の①～③の3つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者(個人及び施設管理者・企業・団体等の活動グループ)

① メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫(②に該当するものを除く)

② メンテナンスを支える活動部門

①の取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動(③に該当するものを除く)

③ 技術開発部門

調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法(点検・診断技術、モニタリング技術を含む)、材料・製品、機械、維持管理データ管理におけるインフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

受賞案件

- 総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、防衛大臣賞(原則各省別の部門ごとに1件、計18件)
- 情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞(1件)
- 特別賞(6件以内)
- 優秀賞(特別賞と合わせて最大24件程度)

応募期間

平成30年10月15日⑨から平成30年12月14日⑩

受賞者の発表

受賞者の発表は平成31年5月を予定しています。受賞者及び受賞内容については、連絡担当者あてに通知します。

※受賞者に対して表彰式を行います。表彰式等の詳細については追って公表します。

応募方法

ホームページより、所定の応募書類等をダウンロードしてください。実施要領を確認し、応募書類に必要事項を記入の上、応募専用アドレスに電子メールにて送付いただくとともに、応募様式の紙媒体と応募様式の電子データを保存した記録メディア(CDまたはDVD)を送付先まで郵送してください。

【ホームページ】

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000200.html

【応募書類の提出先】

第3回インフラメンテナンス大賞事務局(全国地方新聞社連合会事務局内)

- ・メールアドレス:im-taisho@unej-jimukyoku.jp
- ・住所:東京都港区東新橋2-4-6 7階



お問合せ先

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課
インフラメンテナンス大賞担当

- ・メールアドレス:hqt-maintenance-taisho@ml.mlit.go.jp